拓水

題字は　県漁連三浦会長

1月号

No. 124

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町 123
発行人　三浦清太
TEL (67) 6685・(68) 695
編集　拓水編集委員会
発行日　毎月 30日
一部10円
昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

希望の新春を祝して

兵庫県農林部長　細井三郎

漁村の皆さん、明けましてお目出度うございます。

私は、昨年六月はからずも農林部長を拝命しました。水産の仕事を難れて十一年、再び皆さん方と共に、水産振興のため仕事ができるようになったことに、この上もない喜びを感じつつ新年を迎えました。

朝もやをついて初漁　（東二見漁協　田辺氏写）

限りなく続く海を眺めておりますと、海の中には何がかくされているのだろうといった感じがします。人間が魚をとるようになってから幾千年もの歴史をもちながら、人間が積極的に海に手をつけ始めたのは僅か数世紀の前からです。殊に漁船にエンジンが普及してから五十年、魚探の普及は戦後、本県で養殖業が海の牧場として脚光をあびてから未だ十年もたっておりません。こうしてみますと、人間は、海のもつ資源を未だ十分に利用していないといえます。

本県の漁獲高は、戦後の技術の進歩と共に飛躍的な上昇をしてきました。また「陸上の食糧生産には限度がある。将来は水産物に頼らなければ人類は生きてゆけない。」といわれていることからも、海の生産力の大きさがうかがえると思います。

県では、水産試験場の近代化をはかると同時に本年百トン級の調査船を建造し未知の分野を少しでも明らかにし、食糧生産の重責を担う水産業の振興にお役に立ちたいと考えております。

しかし一方では、埋立、汚水、公害など、皆さん方の生活に大きく影響するきびしい現実があります。漁村の皆さんも含め、国民の生活水準の向上をはかってゆくには、ある程度まではやむを得ないことですが、県としましては、できる限り、この影響の防止につとめたいと存じます。

この新しい年を迎えるに当り、皆さん方のご多幸と豊漁を祈り、新年のご挨拶といたします。

飛躍の年を迎えて

兵庫県水産課長　森本勝巳

漁村の皆さん、家族お揃いで一九六七年の新春をお迎えされたことと心よりお慶びを申し上げます。

私事で恐縮ですが、長らく田舎住いをしていた私も昨年明石に移り、今年の正月は明石海峡を眺めながら初日の出を迎えました。長年水産の仕事にたずさわりながら、元旦に海を眺めるのは初めてと、いささか不思議な感慨を覚えた次第です。

さて、昨年は、本県水産業界からは三浦、塩崎両氏が永年に亘る御功績に対し叙勲の御沙汰があり、更にその感激もさめやらぬ内に、秋の全国農業祭において、淡路の森吉一氏が天皇杯受賞の光栄に輝き、御本人はもちろん、本県のためにも万丈の気を吐いて、その声価を高からしめたことは、本県水産人の等しく慶びとし、誇りとするところであります。

天皇杯受賞の対象となった業績の内容については、既に本誌に詳しく報じられましたが、ややもすると先行き不安のムードにある内海漁業の前途に明るい方向を具体的に明示し、立証した意義はまことに大きく、不滅のものがあります。

従来からすめられてきている栽培漁業や養殖業は内海の豊富な栄養塩類を活用するもので、この意味において無限の発展の可能性をもつものといえましょう。今年は更に創意と工夫を凝らして大躍進の年としようではありませんか。

日本海においては、依然として本県の沖合底曳が他を圧して王者の貫録を示しており、その活躍は遠く朝鮮近海にまでおよんでおります。日本海の荒波と闘ってきましたが、昼夜漁撈に従事しておられる乗組員の方々に心より新年の御慶びを申し上げたいと思います。

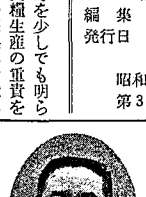
沿岸の方々も一本釣りをはじめ、それぞれの漁業について活躍しておられますが、今年はイカ一本釣りの大型化に向ってはどうでしょうか。幸い火光制限も五KWまで引き上げられ、大和堆における大型イカの状況も次第に判明してきました。但馬沖に来游して来るのを待たず、遠く対馬方面から北海道沖まで魚群を追って操業すべきでないかと思います。もちろん資力の関係もあり、経営形態の問題もありましょう。

幸いにして、秋には水産試験場の新鋭調査船も竣工して、これらに一役買うこととなりましょう。県は物心両面に亘って御援助したいと考えております。

全県下の漁業者の皆さんに、今年は幸多い年となりますようお祈りして、新年の御挨拶といたします。

「新春を迎えて」

水産試験場長　井沢康夫



あけましておめでとうございます。

新春を迎えて皆々様今年の希望に胸をふくらませておられることと思います。

漁業界は何かと多事で、大きく伸びることが、なかなか困難ではありますが、昨年、森漁協の森さんのように、長年の御苦心が実を結び、農業祭で天皇杯を獲得されたことは、決して沿岸漁業もみすてたものでなく明るい希望があることを実証されたもので、我々に大きな力をあたえてくれたものと思います。

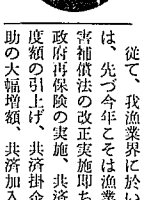
水産試験場の仕事は、業界に役にたつ技術の開発であり、業界の役に立たぬとすれば、水産試験場はなくてよいものです。技術の開発はそう短兵急に望んでもできるものではありませんが、業界に役立つ試験研究を更に進めてゆきたいと念願しておりますので各位のたえざる御叱声をおきかせ下さい。

賀正

昭和42年元旦

新しい年を迎えて

兵庫県漁連会長　三浦清太郎



本県漁業の皆様新年御目出とう御座います。昨年中は国の内外に於いて発生した種々な重大事件は、それぞれの歴史に記録され、又我漁業界にも様々な漁業関係の出来事が、漁業史に記述され、私事では叙勲と病気入院が忘れられない思い出の一つに残して一九六六年は終りを告げ、茲に一九六七年即ち昭和四十二年の新春を迎えまして、洵に御同慶の至りに存じます。

さて年頭に臨みまして、所感を一言しますと先づ今年は衆議院の解散を始め、知事と市長選、更に県市町村会議員の改選特にこの度の選挙は極度に達している積弊の政治腐敗、不信の趨勢を厳しく正す国民的裁断の意義ある総選挙の年だと信じるのであります。

当新しい仕事にも従事できるよう最新の装備をほどこす筈ですので、本年後半の新船の活躍を期待しております。

本年は建設の年で、その建設に水試の力をそそがねばならぬのですが、試験研究におたてりがあってはならぬと思います。新しい近代的な研究施設ができるのをたのしみにして、その際大きく飛躍することを目標に、地味ではあっても、本年一年着実に試験をすすめてゆくつもりです。

更に水試からの御願いは、我々の試験研究がなお一歩、皆様方の考え方に密着するため、皆様方の御要望を聞かせてほしいことです。本年はこの点にも努力してゆきたいと考えております。

明石本場が、明石中崎の理立地に新しく改築整備されによって、やっと本年度中には新しい設備をもった近代的な水産試験場が誕生することでしょう。又日本海には、廃船になった兵庫丸の代船が、本年夏には竣工し試験調査に従事することができるでしょう。日本海方面の試験船としては、相

本年は、老朽している

従て、我漁業界に於いては、先づ今年こそは漁業災害補償法の改正実施即ち、政府再保険の実施、共済限度額の引上げ、共済掛金補助の大幅増額、共済加入条件の積極的緩和等の実施、次は公害基本法制定実施に伴う附属立法は、今度こそは骨抜きにされない完全な制度をしかも急速に実現を期すること。

特に来る二月の東京に於ける全国漁民大会を山場として、これは相当期待し得ると思われるのであります。

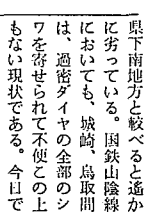
従て沿岸漁業の新年度の重要課題の大切な柱はこの二件であると、共にこれが実現の年でもあると考えるのであります。

その他の漁業問題では、弱小組合の強化合併の励行自立経営を主眼とする漁業の近代化、更に恒久性の課題では漁業の後継者問題が最も重要課題と思われますが、これらに関する構想としては、先づ漁村の子弟に漁村生活に夢と希望を育てることと、若い者がこのむ明るくして住みよい環境の漁村造りが大切だと思われます。

終りに私事をはさんで恐縮ですが、今年私は半の年男の当り年であると共に、金婚の当り年にも該当していますので、何か意義の深い事を是非したい希望を持っていますので、何卒本年も相変らずよろしくお親交とお支援の程を、伏してお願いをしまして年頭のお挨拶の辞と致します。

年頭の抱負
政治力の昂揚について

但馬漁連会長　西上重弐



一つの例を申してみよう。但馬の海岸線は九〇キロメートル。大小の漁港が十六。漁業生産高三万五千トン二十三億円。但馬の産業における漁業の占める比重は相当高い。しかるに、宇宙開発時代の今日、僅か九〇キロを結ぶ海岸道路が未完成の状態である。くわしく申せば、竹野町須井と香住町相谷の間。香住町余部から浜坂町三尾の間が軽二輪も通らない有様である。同じ但馬でも農山村は、若干ましであるが、それでも但馬全体の道路の整備は、県下南地方と較べると遙かに劣っている。国鉄山陰線においても、城崎、鳥取間は、過密ダイヤの全部のシワを寄せられて不便この上もない現状である。今日では、いくら漁業生産が向上しても、魚価維持すなわち流通の面を無視しては漁村の繁栄は考えられないと断言してもよいであろう。流通の円滑化に欠くことのできない道路、鉄道がこの有様では、どうして漁村の振興が図られよう。何故こうなのか？結局は漁民の政治力の貧困に帰するのではないか。

県や・国に対し陛理窟を並べたててゴネ得をはかることが政治力ではない。漁業の現状、漁村の実態を正確に為政者に反映させ、国をして、県をして、取り上げずにはおれないように仕向けるために、漁民はその一人一人が、誇りと自覚をもって結束を固めることが政治力を特つことの手段である。又これを支援し助長するのが漁業団体の役目である。我々が組織している県漁連はこの事を重点施策に取り上げるべきものと考えている。そのために漁民も、自分の組合を通じて常に県漁連に対しその意のあるところを忌憚なく披瀝することが肝要と思う。

冒頭に申したような、交通の隘路を解消し但馬の全漁村が、有機的に結合を遂げ、文字どおり同一生存圏として発展することに、私は微力を捧げたい。これが私の年頭の抱負である。

年頭のことば

瀬戸内海漁業調整事務局長
竹原幸吉

あけましておめでとうございます。

昭和四十二年の新春を迎えるにあたり、漁民の皆様に謹んで御祝いを申し上げます。

瀬戸内海の漁業は、近年、大規模な臨海工業地帯の埋立造成、干拓などにより有用な藻場や漁場を失ない、また、都市下水、工場廃水の流入、し尿の海上投棄、船舶廃油、航路浚渫などにより海水は甚だしく汚染され、一方、能率漁具、漁法を使用しての無秩序な漁業により、その水産資源の減少は著るしいものがあります。

このため、当事務局におきましては瀬戸内海漁業を振興し、水産資源の積極的な維持、培養を図るため、国の施策と相まって沿岸漁業の構造改善対策事業を推進し、内海漁民の所得の向上を図り、また、有用魚種の稚魚を放流する所謂栽培漁業を育成し、内海漁業の体質改善を行なうべく努力している次第であります。

昭和四十二年におきましては、これらの事業を引続き推進してまいりますが、特に栽培漁業の面におきましては、栽培漁業協会の事業場が更に一カ所増設されると共に、既存事業場の施設も拡充され、魚種においても、数量においても従来より一層多くの稚魚が放流できるものと思います。

一方、公害対策問題につきましては、国において公害対策基本法の制定が予想されておりますが、この際特に水産資源に悪影響をおよぼす公害について、十分なる施策が構ぜられるよう強く要望してまいりたいと考えております。

次に、漁業秩序の維持につきましては、特に瀬戸内海の主幹漁業である小型機船底びき網漁業について、漁業の近代化の方向とあわせて、水産資源への影響、他種漁業との競合などの問題を解明し、これの制度上の取扱いについて十分検討を加え、漁業秩序の維持を図ってまいりたいと考えております。

以上、年頭にあたり簡単ながら所信の一端を述べ、皆様の御繁栄を御祈り申しあげる次第であります。

昭和四十二年元旦

新年を祝して

兵庫県信用漁業協同組合連合会
会長理事　島田文治郎

漁村の皆様、ご家族打ち揃って、ご機嫌よく新しい年をお迎えになりまことにお目出とうございます。

さて、昨年の県下の漁業の状態を振り返って見ますれば、内海地方では、いわしの漁には恵まれませんでしたが一般の漁業は、いくらか平年を上廻り又但馬地方にありましても機船底曳をはじめ一本釣も相当な漁でありましたので、まあまあであったかと思います。

ただ播州地方の海苔は未曾有の不作であったことは、この地方の方々には大きな打撃でありました。

播磨灘の中心、家島群島や、淡路由良、福良などの漁はまちの養殖はここ数年来発展して今では業者の数も二十余名に達しました。これまでには県水産課の方々に色々とお世話をいただいております。昨年五月には兵庫県かん水養殖漁業協同組合を設立してその事務所を県立水産会館に置くことになりました。内海漁業動向の一面を示すもののように思われます。

昭和三十九年度から三ケ年の継続事業として全国的に運動を進めて参りました全国漁協貯蓄二千億円達成運動も全国漁民の総意によって三ケ月繰上げ昨年十二月でいよいよ最終の期限となりましたが皆様方に色々とご無理申し上げほんとに恐縮の至りです。幸い皆様の深いご理解とご協力によりまして本県に割当てられた二十六億五千万円は昨年末にどうにか達成されたようでありまして、この点、心から厚くお礼申し上げます。

本会も昨年十一月で創立十五周年を迎えお陰様で今日では貯蓄額は二十億円余、貸出し額も十億円を突破するに至りました。

もとより漁村の金融機関として皆様方のご要望に奉仕するのが唯一の目的でございまして、いよいよその基礎も確充されて参りましたことを感謝すると共に新しい年を迎え更に役職員協力して努力いたしたいと思いますから宣敗くご支援下さいますようお願い申し上げる次第でございます。

皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたしまして私の年頭のご挨拶といたします。

年頭の御挨拶

全国水産業協同組合共済会
会長　三浦清太郎

昭和四十二年の年頭にあたり、全国の漁村の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

顧みますに、去る昭和二十六年一月、漁協の共済組織として、この全水共が新発足、漁村を対象とし全国の漁協が手をたずさえて運営する初の共済事業として火災共済が創設されてから、十六年を数えます。

以来昭和三十年九月には厚生共済、昭和三十二年十月には沿岸漁業者が多年切望してやまなかった漁業共済の試験実施に着手、さらに昭和三十五年一月から漁業労働の特殊性を考慮したノリコー（乗組員厚生共済）が発足するなど、沿岸漁業の実態に即した漁業、厚生、火災の三共済が拡充強化され、またそれぞれ推進組織が整備されてまいりました。

かくて漁業共済試験実施の成果として、昭和三十九年六月念願の漁業災害補償法が成立し、漁済連の誕生によって画期的な漁災制度の本格実施へと発展したことは、ご高承のとおりであります。そして漁災制度は今年、昭和四十二年度から国の再保険によるまさに本格的な制度として躍進しようとしております。

さて本会は、漁済連の発足以来、厚生、火災の両共済事業を一段と強化し、推進する組織として体制の整備と仕組みの改善に創意をこらし、チョコー、ノリコー、カサイの普及拡充に努めてまいりました。

共済はまさしく漁協運動の仕上げの事業と申せましよう。漁業をとりまく様々の災害、漁業生産の不安定性と漁家の生活不安は、漁業共済をはじめチョコー、ノリコー、カサイの三共済で日常武装することによってはじめて、防禦することができます。共済で武装した漁家の繁栄は、また漁協の成長発展を約束します。

今日共済事業に対する漁協の認識は次第に高まり、また全国の漁協の積極的な推進活動によって、チョコー、ノリコー、カサイの三共済の加入が日々に増えつつあります。

とはいえわれわれは、現状で決して満足してはいません。三共済は年を追って普及しつつあるとはいえまだまだ共通して加入の地域的偏在、加入の層の薄さ、共済を基盤とすることによって、その効果を一段と発揮するものと申せましよう。

デモ行進風景（於大蔵省前）

という弊から脱し切ってはおらず、仕組みにもさらに改善の余地が残されております。

加入を全国的に一層普遍化すると同時に、各人の加入額を厚くすることによって、真に共済の機能を発揮させ、さらにこの普及成果を飛躍台として、てん補内容の充実、掛金の引き下げなど仕組みの改善をはかることがますます切望されます。

制度改善のきめ手は、普及の拡充以外にありません。われわれ共済加入の漁家の皆様にとって多幸な年となるよう、さらに共済事業がますます飛躍する年であることを念願しつつ、年頭のご挨拶といたします。

漁災制度確立
全国漁民大会開催

漁災制度の確立を期する全国漁民大会は、十二月二日東京平河町の社会事業会館久保講堂に、全国から漁民代表者一五〇〇名が集って盛大に開催された。引続いて出席者全員によるデモ行進が、政府、国会に対する請願、陳情を行なうなどをして非常に大きな成果を収めた。

この大会には、本県から摂津地区三名、播磨地区七名、但馬地区七名、淡路地区四名合計二十一名の代表者が出席参加された。

大会は、まづ漁災中央本部池尻事務局長の司会によって開会、大会委員長片柳全漁連会長の挨拶が行なわれ、つづいて来賓者農林大臣松野頼三（代理）、衆議院農林水産委員長中川俊思、参議院農林水産委員長中馬辰猪氏（代理）日本社会党政策審議会長山崎斉、全国農業共済協会長伊東正義の諸氏からそれぞれ祝辞が述べられた。ついで五名の議長団が選出されて議事に入った。

議題は「漁業災害補償制度の強化拡充についてであって、これの提案理由が漁災中央副本部長安藤孝俊漁災連会長より説明され、北海道、長崎県、神奈川県の代表者から制度の完全確立を急ぐべきであるとの意見表明があったあと、政党代表者意見表明としてつぎの三氏からそれぞれ（漁災制度は漁業経営の安定施策としては最重要なものであるから、法律の附則規定で明らかにしているとおり、早急に拡充強化を計らねばならない）との趣旨の意見が力強く表明された。

自由民主党政務調査会長
中馬辰猪氏（代理）
日本社会党政策審議会長
横路節雄氏
民主社会党政策審議会長
今澄勇氏

ついで大会決議文の朗読があってこれを満場一致で採択し、最後に三重県漁連会長石原円吉氏の音頭で万歳を三唱して大会は閉会された。

大会開会中一五〇名に余る国会議員が入れかわって臨席され、その都度一同に紹介された、本県選出国会議員のうち臨席されたのはつぎの十氏であった。

衆議院議員
永田亮一氏　渡海元三郎氏
山口丈太郎氏　原健三郎氏
砂田重民氏　五島虎雄氏
参議院議員
岸田幸雄氏
松沢兼人氏　青田源太郎氏
中沢いと子氏

大会に続いて参加者一五〇〇名を五梯団に編成してデモ行進に移った。目の丸を中央に「漁災確立」の文字を大きく染めぬいたハチマキをしめ、大漁旗を押し立ててのデモがくり広げられた。

この間に各県代表者によって政府、国会への陳情請願が行なわれたが、本県から衆参両院議長に提出した請願書には、選出国会議員全員の署名が得られたことは誠に力強い感じを深めたものである。

このようにして意義深い大会が終えられ全国漁民の制度改善の熱望が充分に反映されたのである。来るべき通常国会において是非解決されることを願うものである。

昭和四十一年度漁村青壮年活動実績発表兵庫県大会

一月十二日（木）水産会館　午前九時半～午後四時

例年の内海、但馬両地区の漁村青壮年活動実績発表会を一カ所にまとめた兵庫県大会が、一月十二日県立水産会館で開催されます。

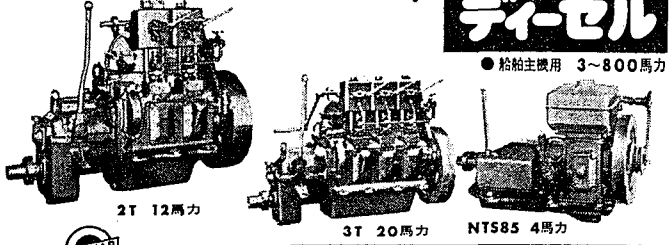
本年度の大会は、漁具漁法の改良、浅海増養殖の研究、稚魚放流の効果、経営問題など、各部門に亘り県下各地区から、研究活動について十有余グループの発表があります。

グループ相互間の技術、知識の交流をはかり、その成果を広く普及するのが主目的で、年に一度の漁村青壮年のための大会です。研究クラブ員はもちろん、クラブの指導者、一般漁民の皆さん多数のご参加を望んでいます。

厚みを増すことによって、すべての漁家が利用しやすい、また利用して喜ばれる制度につくりかえたいと念願しております。

昨年十一年六月、本会は初のチョコー推進優績者全国大会を東京で開催、過去の事業結果に反省を加えるとともに、推進の諸体験を交換し合いました。そしてこの催しは普及活動のはげみの上で、また各漁協の情報や共済推進技術の交換という点で好評を得ましたが、さらに今年は厚生共済発足十周年にもあたり、一段と創意を加えた厚生共済推進者研修会の開催を六月末に企画しております。この研修会に全国の漁協の皆様が、奮って参加され、輝かしい普及成果を持ち寄られることを衷心から待望いたします。

昭和四十二年もまた漁家の皆様にとって多幸な年となるよう、さらに共済事業がますます飛躍する年であることを念願しつつ、年頭のご挨拶といたします。

YANMAR DIESEL ENGINE
● 漁場と市場を直結する！
ヤンマーディーゼル
● 船舶主機用　3～800馬力

2T　12馬力
3T　20馬力
NT585　4馬力
YANMAR
ヤンマーディーゼル株式会社
<本社>大阪市北区茶屋町62番地
札幌・旭川・仙台・東京・金沢・大阪・岡山・広島・高松・福岡・大分

今年のイカナゴ漁況（第一報）

県下内海におけるイカナゴの今年の漁況はどのように推移するだろうか。前報に述べたように、昭和二十五～三十五年の間は一般に暖冬時代といえたが、昭和三十六年以降はやや寒冬、冷春の年が多いといえる。今冬も昨年（昭和四十一年）十二月以降、播磨灘、大阪湾の水温は例年より一・〇度C内外低目を示している。

産卵期

イカナゴの産卵期は、十二月～一月にわたっているが、その盛期は十日前後のごく短い期間である。この産卵盛期がいつごろであるかは年によって多少ことなるが、水温が十四～十二度Cに下降するころで、長年にわたる変化を第一図に示した。図に示されるように、前述の暖冬時代と寒冬時代による産卵盛期のみられる時期は、前者では十二月下旬～一月上旬に片寄り比較的おそいが、後者では十二月上旬～中旬にみられ、例年より早い傾向といえる。

この産卵盛期の遅速は水温よりも、十二月中の日照量の多少による方が関係が深く、日照量の少ない年は早く、多い年にはおそい。

昭和四十一年十二月上旬に漁獲された親魚の生殖腺成熟度と、十二月中の水温変化から、今年の産卵期は、十二月中旬後半～下旬前半（昭和四十一年）と推定され、昨年と大差はない。

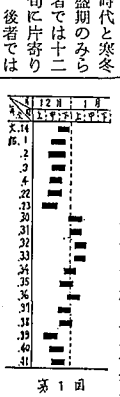
親魚の年令組成

親魚（フルセ）の多い年には当才魚（シンコ）が少ないことは、古くから漁業者間で経験的にいわれている。水試の調査結果でもこれは当才魚の発生量変動に関する注目すべき要因の一つとみなされる。親魚の多い年には、当然産卵量が多く、したがって当才魚漁獲量も多いことが期待できるはずであるが、逆の結果を生じる場合が多いのはなぜか。その要因として、物理的要因（気象、海況など）と生物的要因（イカナゴの生態）に大別できるが、生物的要因として次のことが上げられる。

①親魚の多い年は、一年魚（一夏を越したもの）が多い。

②一年魚は産卵前から摂餌活動をしているが、二、三年魚は産卵後から摂餌を始める。

③産卵後の各年親魚の摂餌活動は一段と旺盛になるCが三年魚はほとんどみられない。また今年の一年魚は平均体長が八九・八㎜



第1図
イカナゴ産卵盛期の推移
（播磨灘底曳網）
：年次は12月の年

による）には、親魚および他の生物による食害が大きくなる。

④一般に魚類では、その年令の中位のものから最良の子孫が得られる。イカナゴも同様とすれば、二年魚の割合が多い年には、それから生まれる稚仔―シンコの生残りが大きい。

以上のイカナゴの生態特性により、親魚と当才魚の関係が明らかとなったが、今年の親魚の年令組成はどうであろうか。最近十カ年の推移を表および第二図に示した。

今年の親魚は、一年魚の割合が二十四％で、好漁年であった昭和三十六年、四十年とほぼ同様の組成といえるが三年魚はほとんどみられない。また今年の一年魚は平均体長が八九・八㎜大きい。しかし量的に少ない模様。

――今後の見通し――

前述のように、産卵盛期は昨年度とほぼ同時期であるが、親魚の年令組成は大きくことなり、今年の親魚（フルセ）は二年魚が主体で、例年のものより六～八㎜大きい。しかし量的に少ない模様。

――今後の見通し――

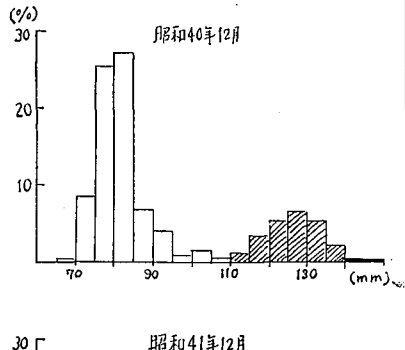
前述のように、産卵盛期は昨年度とほぼ同時期であるが、親魚の年令組成は大きくことなり、今年の親魚（フルセ）は二年魚が主体である。したがって親魚の漁獲量は、昨年の半量以下しか期待できない。しかし親魚の質は良いと思われるので、稚仔の孵出する一月上～中旬にかけて西の季節風が連吹すれば（気象の長期予報では可能性多い）、稚仔の拡散域も大きくなって、親魚その他による減耗は昨年より小さいと考えられる。

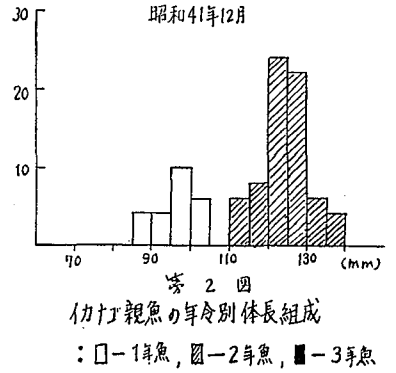
（水試浜田）

1年魚の割合と平均体長の経年変化

年次（昭）	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
親魚中における1年魚の割合	73%	66	51	20	77	54	73	24	74	24
1年魚の平均体長	78.4㎜	84.3	83.7	82.7	74.6	89.5	72.4	96.6	75.4	94.8

：各年11～12月の資料のため、今年（424年）の当才魚の親魚は41年に示すものである。





第2図
イカナゴ親魚の年令別体長組成
：□―1年魚，▨―2年魚，■―3年魚

漁家への活性持続型ビタミンを与える

毎日テレビをみていると，C．Mには……ビタミンをとか，のんでますか…ビタミンA等の人間の活動力を持続さす薬品名が出てまいります。私も習慣となりビタミンを続けている。効果は遅がやや，安心感を持続していることは，毎日の健康に非常にプラスされていることが言えよう。

漁家への活性持続型ビタミンを与えようと題しましたが，その前にちょっと，旧来より漁業は海の無料の宝を取る職業とされてきたが，それでは無料であるかどうかについて，そら一魚そのものは，誰の所有物でもない。しかし，一定海面中の魚はその漁業権を所有している，漁協，漁業者のものである。それなのに時々他人の宝庫へしのびより，明日の大漁を期待して夜の明けるのを待っている矢先に，お先に失礼とばかり，ごっそり持って行く者がある。この者たちは真の漁業のエチケットがわかっているのかどうか，持って行く方は思わぬ大漁，行かれる方は思わぬ不漁と明暗ははっきりしている。漁獲不振の内にあって，魚もチエを持っていて行来の激しい場所をさけて，静かで餌の多いところへ集まる。この場所を作らんが為に互いに研究，努力している折，このような行為は誠にみぐるしき至りであり，この際互いに反省しようではないか。

扨，本題にはいり魚は無料であるとしても，この魚を獲る為には多額の経費を要する。そうなれば，無料より高いものはないと昔から言われてきていることが如く，この言葉が適切である。

私は常に魚の原価計算をしようと心掛け，自分は自分なりに計算を立てている。

1日の漁獲高（販売高）からその日の所要経費（直接，間接費用を全て含める）をマイナスし，さらにそのマイナスされた数字を水揚数量で除した場合，1日の総合された1㎏／円が算出される。ですから，他の製品と比較にならないほど安く，時にはマイナスの場合もなきにしもあらず。ですから利益率は単価に比例するものである。このように考えますと，漁家へのビタミンは，魚価（単価）の向上でもあり，「上がっていますか，魚の値段」ということにもなり，魚価が安定されていない折，魚価の向上こそ唯一の漁家への活力剤であると私は考えます。

漁村でよく聞き受ける言葉として，

「こう魚が安くては，明日も休んだ方が，かえって経費も使わず得策だ」と聞き受けますが，この問題を解決するためには，鮮魚販売のみならず，変型魚類の販売を行なうことが先決であり，漁家自から持続性ビタミンを作り，自から吸収さす方法を考えねばならないことがおわかり戴けたことでしょう。インスタント時代に備え，加工魚類の方法を促進し，魚類タン白質の補給をこの漁業者の手で行ない，健康で明るい漁村建設を急ごう。

丸山，竹中

天皇杯に輝いた森吉一君のことなど

（思い出のアルバムより）

作花英治

昭和四十一年度の農業祭において、淡路町の森吉一君は、見事、天皇杯を獲得されて、沿岸漁業のために無上の栄誉を飾っていただいた。まことに肩身の広い思いである。実は森君と僕とは正しく「同期の桜」の間柄なのである。正確に申すなら、昭和七年一月にはじまって三月に終った。兵庫県水産試験場主催「第二回漁村中堅人物養成長期講習」を共に受講し共に修了したのである。

私は当時、柴山港漁業協同組合の前身である「口佐津村漁業組合」の事務員であったが、組合長から講習参加の命を受け、明石に派遣せられた次第であった。中学校を卒業して、漁業組合に採用されて間のない頃であった。

明石の水産試験場の下にあった「港屋」という旅館兼料亭が我々の寄宿舎に充てられた。私が寄宿舎に入った夕方、ドヤドヤと部屋に踏み込んで来た一団の少年達があった。いづれも紺ガスリの着物に羽織という出でたちで、ワイワイガヤガヤにぎやかな事であった。この少年達は、淡路の各地から派遣されて来た講習生で、森君はその中の一人であった。大部分がまだ小学校の尋常科又は高等科に在学中で、いわゆる卒業直前の校外勉強にやって来た人達であった。淡路の方言まる出しで、我々大人（但馬から来た講習生は五人で、二人は世帯持のオヤジさん、三人は徴兵検査前の青年であった）ともすぐ仲良しの会話がかわされるようになった。夕食後の雑談が一しきりはづんだ後、ソロソロ眠くなると、「モウネッカ（もう寝ようか）」と口々に言いながら、床を取った事をよくおぼえている。

翌日試験場の講堂で、開講式が行なわれた。

講習生の総勢三十二名、大人が十名、子供が二十二名である。

場長は「菅沼九一」という方で眼鏡をかけ見事なヒゲを生やしておられた。只今瀬戸内海栽培漁業協会の仕事をしておられる内橋博士も若い技師であった。先生には海洋学を教えていただいた。五十嵐技師、服部技師は、運用航海の先生、金井技師は製造、斉藤技師は養殖の先生であった。

私達はこれ等の諸先生により水産学の手ほどきを受け、このことが私にとっては結局私の人生を方向づけたのである。二月の下旬ともなると、明石浦は、もう春であった。海岸の石垣や水産業界のトップリーダーとなられる日は、遠くない。頑張れ！森君。天皇杯のために!!

最後に、森君おぼえていますか？記念撮影の際、ピントを合せ終った写真師が、正にシャッターを切らんとしたとき、最前列に腰掛けておられた、故小畑県水会長が、大きな声で隣席の高松商工課長に「課長・写真ちゆうもんはいつ頃日本にはいって来たもんじゃろう」と話しかけられた。課長が、「サーネーいつ頃でしようかね一」といわれたことを。二人の会話により、写真師が又もや黒い布をかぶってピントの合せ直しをやったことを。

写真から手繰る回想の糸は縺々として尽きない。森君。なつかしいですね。

（但馬漁連専務理事）

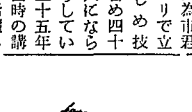
閉講式に来賓として祝辞をいただいた、県の商工課長（当時は水産行政は商工課の一係で所掌されていた）の高松さんの顔も見える。兵庫県水産業育ての親、小畑種吉県水産会長の顔も見える。武藤訓見氏、柴信一氏の顔もうつっている。森君は、私と同じ後部の第三列に、詰襟金ボタンの学生服で、むつかしい顔をしている。仮屋漁協の役員をしている、武田為市君は、第二列に紺ガスリで立っている。場長はじめ技師、助手の方々を含め四十六名。この中で故人になられたことがはっきりしている方も相当ある。三十五年をへだてた今日、当時の講習生達で、水産畑に活躍している人がどれだけあろうか。特に、紺ガスリ組の少年達の中で、私が知っているのは、森君と武田君だけで、他の方々の消息はわからない。

天皇杯を受けられたからというので、お世辞を申すのではない。森君は講習生として優秀であった。キチンとした服装、ハキハキした言動、全く少年グループでは群を抜くものがあった。戦後、仮屋の組合長になられて、時々県庁でお目にかかるようになってから、二人はよく、昭和七年の講習生時代の思い出を語ったものである。今や、森漁協の組合長として、又実際に潮水をかぶる漁師として、森君はかくの如く大成された。やがて森君が県下水産業界のトップリーダーとなられる日は、遠くない。頑張れ！森君。天皇杯のために!!

最後に、森君おぼえていますか？記念撮影の際、ピントを合せ終った写真師が、正にシャッターを切らんとしたとき、最前列に腰掛けておられた、故小畑県水会長が、大きな声で隣席の高松商工課長に「課長・写真ちゆうもんはいつ頃日本にはいって来たもんじゃろう」と話しかけられた。課長が、「サーネーいつ頃でしようかね一」といわれたことを。二人の会話により、写真師が又もや黒い布をかぶってピントの合せ直しをやったことを。

写真から手繰る回想の糸は縺々として尽きない。森君。なつかしいですね。

（但馬漁連専務理事）



助六放談シリーズ (16)

一パーセントの仕事

助川助六

慶応大学の創立者である福沢諭吉訓の第一節に曰く「世の中で一番楽しく立派なことは、一生涯を貫く仕事をもつことである。」また第五節にいう「世の中で一番尊いことは、すべてのものに愛情をもつことである」と。

私は例年、迎春に当ってこれらの訓えを身につけようとするのも、番住町の蔵野利一氏に負うところ少くないが、凡夫の浅ましさの故か、日常茶飯事については、実行しにくいことを痛感している。

今春は再び第一節の訓読に悖ってしまったが、一生涯を貫く仕事として私は、月並的ではあるが、相も変らず職務を全うしたいと念願している。内容としてはあくまでも業界に対する直接の試験指導が、私の職場的な使命である決めているからである。

私は、水産試験場は創立の趣旨にあるごとく、業界の発展に寄与するために存し、研究者自身の試験を行なうためにあるのだとは思っていない。つまり大学の研究構造とはマッタクちがっていることに自信を撞している。

よくエリート意識のつよいかたは仰有る、「これは最も大切な基礎試験である から、五年先、六年先を注目してくれ」と。豈はからんや、明治百年にいたるというのに、水産上の基礎試験がどれほど実ったことであろうか。額面どおりに成果を挙げているのは、むしろ地方水試の開発によるものが多いともうけとれる。

私は幾多の報告類を寄贈されても、それが直ぐに立派だとは感じない。上手な作文だと思うだけである。いうなれば、業界の肌にじかに触れた仕事であるか、どうか、単なるデーターで終るか、どうかを見きわめようとする。

今から十年ほど前に、中央の研究所で、八地区の研究所の会合がもたれたときいたが、水産化学界の長老であった日博士が「今まで学会で発表されたものの九十九%は、業界に貢献していないと思う。実際に役立っているのは一%だけだ。その一%分はボクの研究である。」と見得を切り、満座の学者をして一言も発せしめなかったことが、末席にいた私に痛切に感じたことであった。

幸い、兵庫県水産試験場にいる研究者諸氏は、ものの役に立ちたいと努力していられるので、何をかいわんやであるが、とかく異る世間の傾向（エリート意識）にはおちやすいもの。医学面、薬学面や果ては化学工業のように、実際に業界に裨益することを念じてやまない。それには福沢諭吉訓の「……すべてのものに愛情をもつこと」が肝要で、エゴイズムされた隠れ蓑を、いさぎよくすて去ることにあると思う。私自身も、女性にだけ愛情をもつというスケベエ根性から、脱け出し得ないことを恥じている次第である。（了）

〃初詣〃

助六

揃えおく孫の善意の下駄を履き
梅白くひとに踏まれた足袋を脱ぎ
しゃべってる女の唇を見てるだけ
末席でもうやりとりの祝い酒
すれちがうマダムを呼ばず初詣

どっぐぱらん あんど

美しき夢ある子らの絵双六

そのかみのぼくの迷作だが、お正月になると羽根つき、凧あげ、トランプなど色々の遊びがある中で、目かくしをしたまま、目や眉や口を置いて、お多福の顔にする遊びがある。

アレンジは小々どうでも、あるべき所に置けばいいが、眉の上に目があったり、口の下に鼻があったりしたんでは、笑い以前の見辛らさという現象が先にたつ。

ぼくの先号の「おどかし」も、どう間違いなさったものか、原稿の二、三、四が印刷で順を追わず、ちぐはぐになって読みづらかった。

まるで、目と鼻の間に口があるような文章になってしまったので、訂正してもう一回駄文を載せることにする。

(11) おどかし

魚の仲買人は威勢がよい。

威勢がよすぎて血気にはやり、酒をくらっては粗暴な立廻りを演ずることもしばしばだ。

肝少にしておればつまるところでない。

だから、胆力なきに胆力を見せ、根性ゼロでも根性あるかにしめす大根役者の演技力には、ホトホトシンがつかれる。

もうこの頃ではストーブに頼るシーズンになったが、まだ扇風器に有難さを感じている頃、こちらが強い要求を出す以上、仲買人の言わんとするところも聞いてやるべきだと、スタッフに相談をもちかけたら、まだそのチャンスでないとストップをかけられた。

むべなるかなと、そのままにしておいたが、このたび売買契約の更新にあたり、こちらの方針を充分説明し、各仲買人に納得してもらったところで手をうった方がゆきとどいた手段じゃないかと考え、都合で出られない二人を残して全員よってもらった。

既に覚悟はしていたものの、案に違わず酒の力で会議をまぜっかえす男が現れた。

何の理由で、何を言っているのかトンと合点がゆかない。

話の合い間に茶々を入れること数度。

堪えに堪え、忍びに忍んだぼくの袋もついに緒を切って、他の人に迷惑だからと、退場を命じたら二声三声吠えて階下へ下りていった。

ヤレヤレこれで邪魔者も退散してスムーズにゆくわいと、ホッとしていたら、彼の男ツカツカと上って来、坐っているぼくの前に仁王立ちになり「お前らの一人や二人いつでも殺してやる」と、ランランと燃える目を据え右手を腹巻きにつっこんで、今にも飛びかかってきそうな気配。

「切ったろか!!」

一喝は室に響いて衆声なし

無気味なセリフでも初めて聞かされると、直ちに実感として伝わらない。

姿勢をくずしたらいけないと、ただそれのみがトサカにひらめいたが、案外心は乱れなかった。

仲買人はと見てあれば、みんなうつむいて誰一人頭を上げていない。

さわらぬ神にたゝりなしのてい

声を大にした二人のやりとりも、しばし続いたが彼も席にもどり、仲買人との話しもそれから進行して、とどこおりなく会は果てた。

会が果てて彼はぼくにこう言った。

「お前が可哀そうだったから」つじつまの合はぬ話だが、酔わねばスッパリした気性の男だ。

とにもかくにも、厄介な茶番劇ではあった。

広島型県外出漁

風来漁人

広島の三～八トン級たいがあり、三才の子供でもたい釣りの道具をぶらさげて居りとこれには大人の道具よりも魚の食い付きがよいといわれていた位である。

延縄ではそうも行かぬが、餌かすを外したり小さい弟妹のお守りをしたり五才位になれば一と役つとめるわけだ。もやい合った船には同年輩の友達も沢山居るから海上生活といってもさびしい思いはしない。

夜はせまい船室ながら父母の体温の中で安らかに眠り十分幸福である。こうして成長した男の子は大海の波を恐れぬ勇敢な漁夫となり、女の子はやがて夫と共に喜び勇んで外洋にまで進出してよく働く妻となるのであろう。

一ケ月十万から二十万の収入が上がれば、瀬戸内にくらべて海の荒いことを苦にしなければ、酬いられる所は少なくないといえよう。船着場のすぐそこには都会なみの高級食料や必需品が売られて居り、一家だんらんの夕げ時には主婦が手ぎわの一流のご馳走をならべて主人は一本の晩酌に上きげんで、子どもの頭をなでながら、小唄の一つも出ようという風景である。

出かせぎ家族の暗い留守宅などにくらべて、これはたしかに張り合いのある楽しい家庭生活であるといえるだろう。機関はディーゼルとなり、科学機器を一と通り揃えた新装備の漁船では、かっての外海出漁の観念の中にあった危険や困難は、その大部分が取除かれたといってよい。それにつけても私は十四年以前を想起せぬわけには行かない。

なぜ淡路の優秀で勤勉な出漁船団が尻すぼみで消えてしまったのか。勿論いろいろ理由はあるのだが、先づ環境の急変と家庭生活からの隔離による慾求不満を機会を得た時浪費によって発散させる。

結局温室の花が外界の風に当ったようなもので苦労する割りに結実は少いというわけだ。いうなれば広島人とは体質のちがいがあるということだろう。

裏返せば障害は漁師自らにある。なぜといへば、彼等のもつ卓抜な賤業意識から自己虐使の考えで仕事をしているものだから、あまりにも自分をみじめに考えすぎるし、そこで自分自身をいたわろうとする態度があまりに強く出て来るのだ。

そこでいかにうらやましく思っても、特異な広島方式を淡路の人達そして海に親しまないその奥さんたちに当てはめようとすることの愚かであり無意味であるかは明らかである。

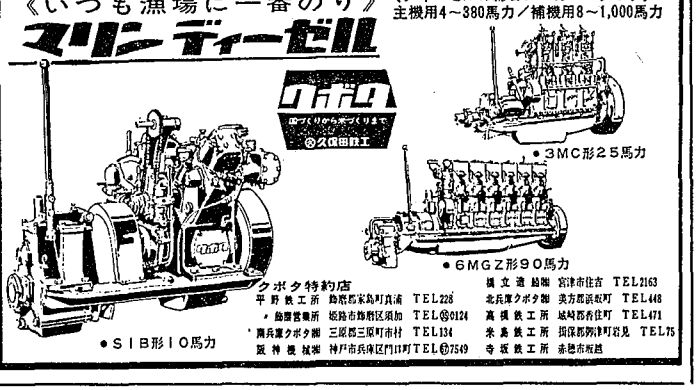
その人たちには進路をけわしい玄界灘の彼方に求めるよりも、もっと賢明に有利にそして手近な道の選択があることは十分に察せられるのである。それにもかかわらず私は若い人々の中には真に海を愛し漁業をこのみ大海のはてに虹のような夢を描く覇気のある青少年が居るにちがいないと信じると共に広島流を学ぶか否かは別として、そのような若者の野心と冒険心にこたえるものは淡路のせまい海でないことを確信する。現状にかんがみ往時を顧みて、そこはかの感慨あるままに話題として書いてみた次第である。

海の辞典

「海の透明度」

海水中に白色の円板を沈めたときちょうど見えなくなる深さを透明度といい、この白色の円板を透明度板という。透明度板はセッキー板ともいわれ直径三〇センチメートルの白色の円板である。

透明度は海水の清濁の度合を現わすもので海洋観測を行なう時には海況を知る一つの要素として調査されることが多い。今まで測定された透明度の最高は海洋の事典によると太西洋の中央部で観測されたもので六六・五メートルとなっており（但しこの時使用した透明度板は直径二メートルの帆布製のものであるので現在の透明度で測った値より少し大きいと考えられる。）日本近海の黒潮および黒潮系海水では普通三〇～四〇メートル、親潮では一〇～一五メートルの透明度となっている。内湾の透明度は陸水等の影響を受け前記より低くなり水産試験場で調査している大阪湾、播磨灘では普通の状態で数メートルから一〇メートル位になっている。（菅）

《いつも漁場に一番のり》
〈ディーゼルの総合メーカー・クボタ〉
主機用4～380馬力／補機用8～1,000馬力
マリーディーゼル
クボタ
ゆづりからゆづりまで
久保田鉄工


クボタ特約店
平野鉄工所　姫路郡家島町真浦　TEL226
・飾磨営業所　姫路市飾磨区項加　TEL⑥0124
・兵庫クボタ販　三原郡三原町市村　TEL134
阪神機械部　神戸市兵庫区門口町　TEL⑥7549
横立造船部　宮津市住吉　TEL2163
北兵庫クボタ販　美方郡浜坂町　TEL448
高橋鉄工所　姫路郡香住町　TEL471
米島鉄工所　揖保郡御津町岩見　TEL75
寺坂鉄工所　赤穂市坂越

新鋭機出現
2周波
魚群探知機
NEC
の技術を誇る
画期的な漁業用魚探機

サウンドグラフ
海上電機株式会社
本社　東京都千代田区神田錦町1～19　電話　東京（291）2611～3・8181～3
神戸営業所　神戸市生田区明石町32（明海ビル）　電話（39）4301代・（33）3706　ビル交換